



2020年3月期 第2四半期決算説明資料



GENDAI AGENCY Inc.

ゲンダイエージェンシー株式会社

2019年10月18日

P3 第2四半期 損益計算書(連結)

P4 事業の種類別セグメント

【広告事業】

P5 第2四半期 損益計算書

P6 四半期売上高の推移

P7 品目別売上高の推移

P8 顧客の状況

P9 従業員の状況

【不動産事業】

P10 第2四半期 損益計算書

P11 第2四半期 連結貸借対照表

P12 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

P13 2020年3月期 連結業績予想の修正に関して

P14 子会社における事業の全部廃止予定に関して

P15-18 各種サービスの進捗について

第2四半期 損益計算書(連結)

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間	構成比	前第2四半期累計期間	構成比	前年同期比
売上高	5,768	100.0%	6,272	100.0%	92.0%
営業利益	285	4.9%	421	6.7%	67.7%
経常利益	253	4.4%	461	7.4%	54.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	24	0.4%	299	4.8%	8.2%

◆ パチンコホール業界においては、ユーザーの参加頻度や投資金額が減少した結果、収益面で厳しい状況が続いています。また、昨今の依存症対策や射幸性抑制を目的とした業界規制の強化の流れを受け、新規出店や新遊技機の積極購入といった投資意欲は、過去と比較しても著しく減退していることがうかがえます。

◆ 当社グループでは主力の広告事業において、特定業界に過度に依存しない収益の多様化を方針として掲げ、パチンコホール以外の分野の市場開拓を進めております。フィットネス業界向け広告領域における拡販や、デザイン受託業務の強化、インターネット求人広告の取扱い等により、収益の底上げに向けた取り組みを進めております。

◆ 結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,768百万円(前年同期比8.0%減)、営業利益は285百万円(同32.3%減)、経常利益は253百万円(同45.1%減)、親会社に帰属する四半期純利益は減損損失112百万円等の特別損失を計上したことにより24百万円(同91.8%減)となりました。

◆ 海外子会社GDLH Pte.Ltd.(以下GDLH社)が所有するカジノマシンについて、減損の兆候が把握され、減損損失が測定されたことから、固定資産の減損に係る会計基準に基づき、当第2四半期の連結財務諸表において、減損損失112百万円を特別損失として計上しました。

■ 当第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	連結
売上高	5,656	75	36	—	5,768
セグメント利益	501	44	▲99	▲161	285

■ 前年同期比較

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	連結
売上高	▲537	24	8	—	▲504
セグメント利益	▲130	8	▲22	7	▲135

- ◆ パチンコホール広告事業が前年同期を下回ったことにより、連結ベースの売上高で537百万円減となりました。
- ◆ その他に関しては、主としてカジノ運営事業における初期投資の償却負担、カジノ施設における集客力低下の影響により、セグメント損失は前年同期比で△22百万円となりました。

なお、東南アジアにおける電子カジノ運営受託事業については、営業赤字が継続しており、この先の見通しにおいても業績の大幅な改善は困難であると判断されることや、当第2四半期において、GDLH社の保有マシンについて112百万円の減損損失を計上するに至った点を勘案し、2019年10月18日開催の当社取締役会において、本事業からの完全撤退の方針を決定しております。

(詳細はP14「子会社における事業の全部廃止予定に関して」に記載しております。)

第2四半期 損益計算書(広告事業)

(単位：百万円)

広告事業	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	前年同期比
売上高	5,656	6,193	91.3%
営業費用	5,155	5,562	92.7%
セグメント利益	501	631	79.4%

外部環境>

- ◆パチンコホール広告市場は、パチンコホール企業における収益性の悪化を要因とする広告費の削減が継続。
- ◆新台入替の頻度減少による告知需要の減少もあり、広告需要は著しく低迷する状況。
- ◆新規出店の減少により、大型の新規出店告知需要も減少。

当社の取り組み>

- ◆自社メディアである「パチ7」やDSP広告「パチアド」を中心としたインターネットメディアの拡販。
- ◆パチンコホール以外の広告分野への人的資源のシフトを開始。
- ◆フィットネス業界向け広告領域における営業強化、デザイン受託業務の強化、インターネット求人広告の販売強化を推進。

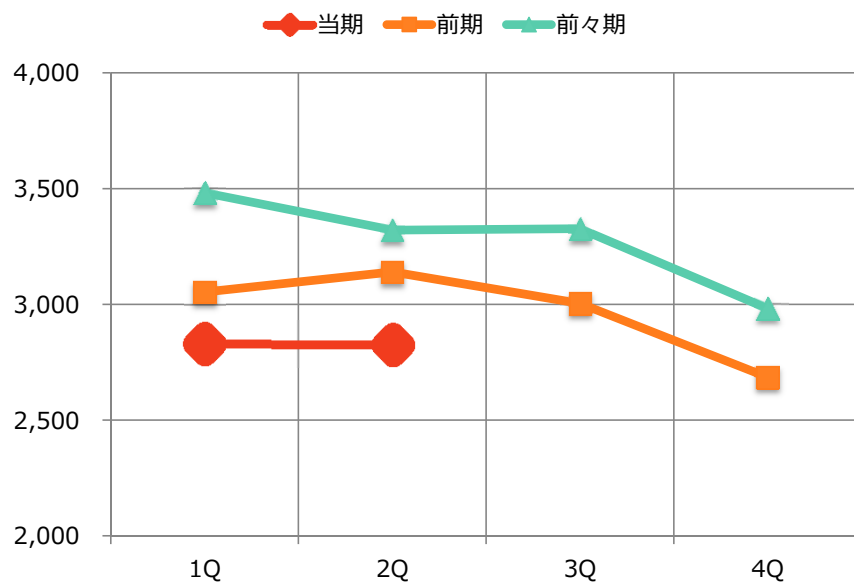
結果>

- ◆パチンコホール以外の広告分野における市場開拓には相応の時間を要するものと見込まれる一方、パチンコホール広告分野の需要減退が大きく影響したことから、売上高は5,656百万円(前年同期比8.7%減)、セグメント利益は501百万円(同20.6%減)となりました。

四半期売上高の推移(広告事業)

(単位：百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期計
当期	2,830	2,826	—	—	5,656
前期	3,053	3,140	3,004	2,685	11,882
前々期	3,482	3,321	3,327	2,982	13,112



◆ 当2四半期における広告事業の売上高は前年同期に比べ、314百万円減少しました。

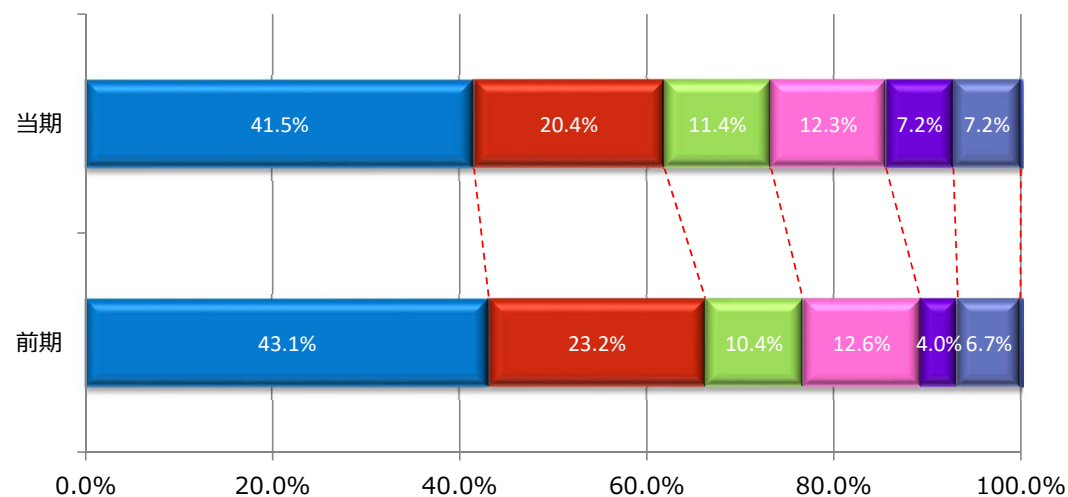
◆ パチンコホール企業における収益性悪化を要因とする広告予算削減が続いたことに加え、新台入替の頻度減少による広告需要の減少や、新規出店が例年と比較し極端に少なかったことから、大型の告知需要が極端に減少したこと等が影響しました。

品目別売上高の推移(広告事業)

(単位：百万円)

	当第2四半期	構成比	前年同期	構成比	前年同期比
折込広告	2,309	40.8%	2,616	42.2%	88.3%
インターネット	1,238	21.9%	1,440	23.3%	86.0%
販促物	630	11.1%	660	10.7%	95.4%
媒体	698	12.3%	786	12.7%	88.9%
クリエイティブ	392	6.9%	278	4.5%	140.8%
その他	385	6.8%	410	6.6%	94.1%
	5,656	100.0%	6,193	100.0%	91.3%

■折込広告 ■インターネット ■販促物 ■媒体 ■クリエイティブ ■その他



◆ 規制の影響により、告知需要が減少した結果、折込広告を中心とする紙媒体、インターネット広告売上高ともに前年を下回りました。

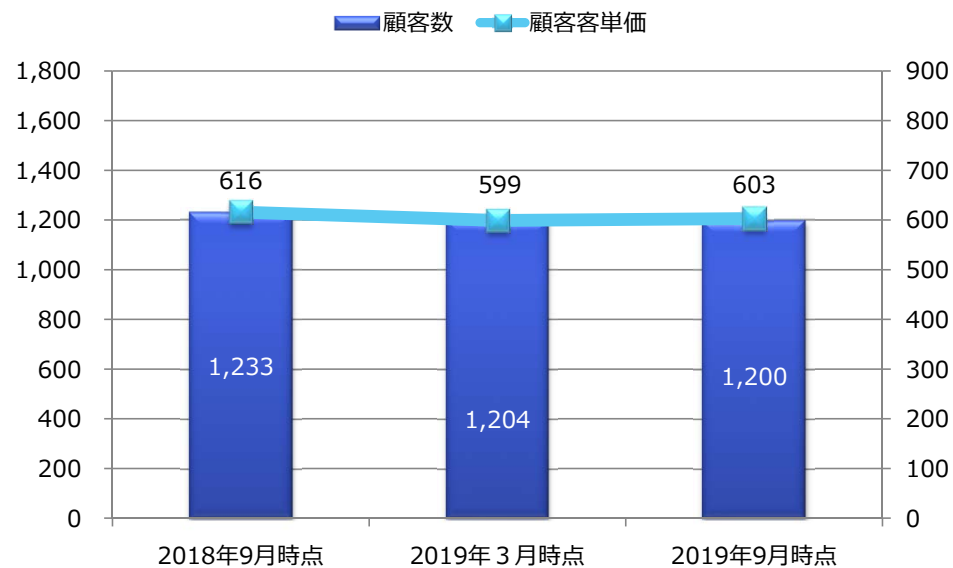
◆ クリエイティブ売上高は、連結子会社において、大型の映像案件を受注した結果、前年を大幅に上回りました。

顧客の状況(広告事業)

◆ 広告費の削減や新台入替の頻度が減少したことによる告知需要の減少を受け、前年同月との比較で、顧客単価・顧客数とも減少しましたが、減少幅は縮小傾向にあります。

稼働顧客	2018年9月時点	2019年3月時点	2019年9月時点
顧客数(件) ※1	1,233	1,204	1,200
顧客客単価(千円) ※2	616	599	603

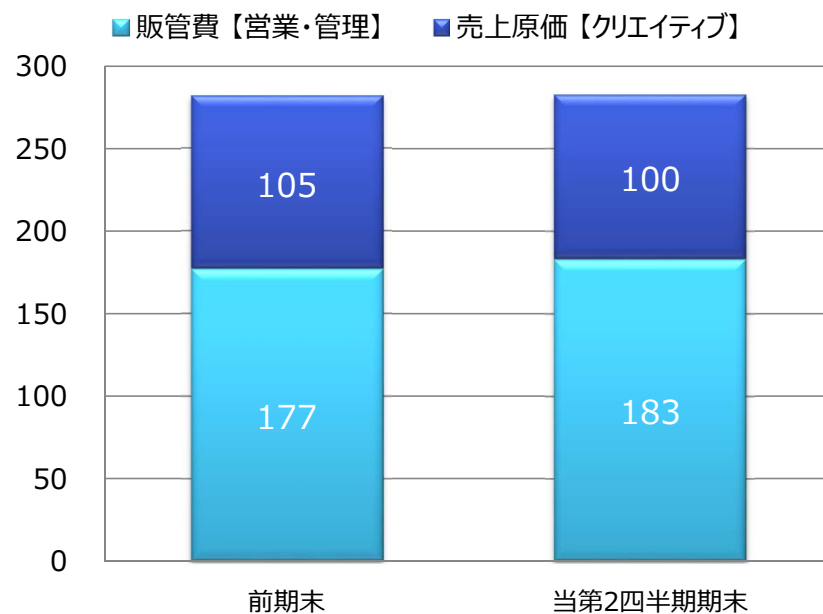
※1：月額取引150千円以上の取引先(パチンコホール)を対象としています。 ※2：数値は単月実績となります。



従業員の状況

(単位：人)

	前期末	当第2四半期期末
販管費【営業・管理】	177	183
売上原価【クリエイティブ】	105	100
広告事業計	282	283



- ◆ 営業・管理 : インターネット広告部門、パチンコホール以外の分野の市場開拓の増強のため
- ◆ クリエイティブ: 紙媒体広告需要の減少のため
- ◆ 結果、前期末と比較して1名の増員となりました

第2四半期 損益計算書(不動産事業)

(単位：百万円)

不動産事業	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	前年同期比
売上高	75	51	146.5%
営業費用	31	16	193.8%
セグメント利益	44	35	125.1%

◆ 2017年2月に新規取得した千葉県柏市の土地の賃貸案件に加えて、パチンコホールM&A案件や、賃貸物件仲介案件(50百万円)を成約しました。

◆ その結果、不動産事業の売上高は75百万円(前年同期比46.5%増)、セグメント利益は44百万円(同25.1%増)となりました。

第2四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (A)	当第2四半期末 (B)	差額 (B) - (A)	
現金及び預金	4,405	4,148	▲257	①納税・利益配当等による現金及び預金の減少
受取手形・売掛金	1,410	1,317	▲92	
その他流動資産	193	260	67	
有形固定資産	985	793	▲191	②GDLH社の保有マシンについて112百万の減損損失を計上
無形固定資産	100	92	▲8	
投資その他資産	998	881	▲117	
資産合計	8,093	7,493	▲600	
支払手形・買掛金	757	746	▲11	
短期借入金（一年内返済予定の長期借入金を含む）	420	400	▲20	③借入金の返済による減少
未払法人税等	166	67	▲99	④未払法人の税減少
その他流動負債	287	184	▲103	
長期借入金	800	650	▲150	③借入金の返済による減少
その他固定負債	33	33	-	
負債合計	2,464	2,080	▲383	
株主資本	5,574	5,403	▲171	⑤四半期純利益+24百万円、配当△195百万円
その他	▲15	▲13	2	
非支配株主持分	70	22	▲47	
純資産合計	5,628	5,412	▲216	
負債・純資産合計	8,093	7,493	▲600	

第2四半期 連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期
税引前利益/税引前四半期利益	461	108
営業活動によるキャッシュ・フロー	515	170
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲333	▲26
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲115	▲365
現金及び現金同等物の期首残高	3,949	4,399
現金及び現金同等物の期末残高	4,042	4,141

◆ 現金及び現金同等物は、当第2四半期連結累計期間において257百万円減少し、4,141百万円となりました。

+ 税引前利益	108	
+ 減損損失	112	
+ 減価償却費	99	
+ 売上債権の増加額	92	
+ その他	95	
		- 仕入債務の減少額 11
		- 法人税等の支払額 227
		- その他（純額） 99
営業活動によるキャッシュ・フロー	170	
		- 固定資産の取得による支出 31
+ その他収入	5	
投資活動によるキャッシュ・フロー	26	
		- 借入金返済による支出 170
		- 配当金の支出 195
財務活動によるキャッシュ・フロー	365	

2020年3月期 連結業績予想の修正に関して

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期実績	前回発表通期 予想 (A) ※2019年 4月19日発表	進捗率	今回発表通期 予想 (B) ※2019年 10月18日発表	進捗率	増減額 (B-A)	増減率
売上高	5,768	9,800	58.9%	11,000	52.4%	1,200	12.2%
営業利益	285	480	59.4%	510	55.9%	30	6.3%
経常利益	253	480	52.8%	480	52.8%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	24	310	7.9%	160	15.4%	▲150	▲48.3%

◆ 売上高については、慢性的な市況の悪化に伴い、紙媒体広告の大幅な減少を予想していましたが、当第2四半期連結累計期間においては、紙媒体広告の需要減は当初の想定ほど大きくなかったことに加え、いくつかの大口案件受注が売上高に貢献しました。下期においても厳しい市場環境は継続すると予想されるものの、紙媒体広告の需要は当初想定までには至らないともものと見込まれることから、売上高は当初予想比で1,200百万円の増加を見込んでおります。

◆ 営業利益については、紙媒体売上高の増加によるマージンの増加を予想するものの、高い利益率が期待されるデザイン外販の拡販が遅延していることや、海外子会社における電子カジノ運営受託事業の不振による影響もあり、当初の予想比で30百万円の増加にとどまると見込んでいます。

◆ 経常利益については、円高進行による為替差損の影響等により、当初予想比での増減はありません。

◆ 親会社に帰属する当期純利益については、海外子会社GDLH社が所有するカジノマシンの減損損失112百万円その他、投資有価証券評価損31百万円を計上したこと等により、当初予想比で150百万円の減少を見込んでおります。

なお、今回の業績予想の修正に伴う、配当予想(中間配当12円、期末配当13円)の修正はありません。

子会社における事業の全部廃止予定に関して

◆ 廃止事業

当社のシンガポール連結子会社であるGDLH社における「東南アジア電子カジノ運営受託事業」(以下、本事業)

- ①カンボジア国内パイリン地区、ポイペト地区の2箇所において、それぞれカジノライセンス保有者との間で、カジノ施設内にGDLH社が保有する電子カジノマシンを設置、その運営を受託し、収益をカジノ施設とGDLH社で按分する内容の契約を締結しており、同契約に基づき、本日時点では、合計273台のGDLH社マシンがカジノ施設に設置、稼働中
- ②案件発生ベースで、カジノ運営に関するコンサルティングやマシンの調達、設置
- ③同社の子会社GD LEISURE GROUP Unipessoal,Lda.を通じて東ティモールにおける将来的な電子カジノ事業へ見込んだ調査活動

◆ 廃止理由

- ・GDLH社は、2017年2月1日に設立され、カンボジア、パイリン地区において、運営受託を開始。同年末頃からのタイ国国境入出国規制の強化の影響により、主要顧客であるタイ人プレイヤーの集客が著しく減少、収益低迷と、初期投資の償却負担もあり、慢性的な営業赤字の状況
- ・タイとの国境付近における最大のカジノ市場であるポイペト地区において、設置マシンの増台による収益性の改善を計画し、2018年11月頃より段階的な営業活動を開始。同時期におけるポイペト地区カジノ市場の冷え込みに加え、当社が運営受託するカジノ施設固有の要因による集客力の低下により、同地区における事業についても営業開始以来、営業赤字が継続
- ・慢性的な営業赤字の状況に加え、当第2四半期においては、中古流通価格の下落の影響により、固定資産に係る減損損失を計上、また、収益の低迷により、本事業の継続による将来的な運営資金不足の懸念が顕在化
- ・以上の状況を踏まえ、本事業からの撤退による将来の損失抑制が妥当であると判断し、GDLH社におけるカンボジア、東ティモールを含めた、本事業からの完全撤退に関する方針を決議

◆ 今後の方針

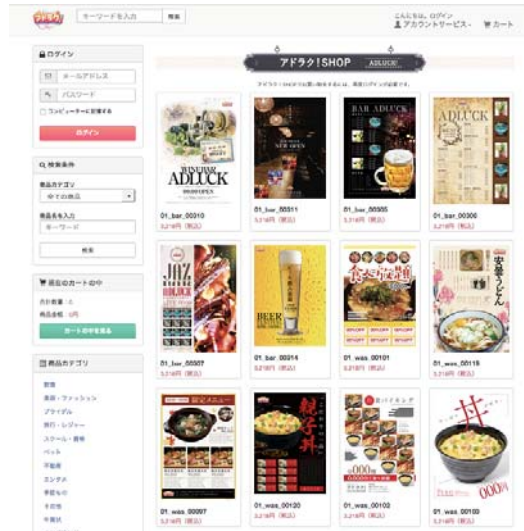
GDLH社が保有するカジノマシン358台(当第2四半期末連結貸借対照表計上額153百万円)は、すべて売却していく予定

当社グループは不採算の海外事業から早期に撤退し将来の損失を抑制する一方、厳しい経営環境の中で事業構造の変革過程にある、国内広告事業等に経営資源を集中することで、グループ全体の業績の立て直しに専念していく方針

デザイン受託サイト アドラク！について



個人事業主、企業のニーズに総合的に対応可能なデザインポータルサイトです
国内最多保有数となる2万6000点のデザインテンプレート素材と、デザインのノウハウを伝えるデザイナーブ
ログをメインコンテンツに、オンライン上でセミ、フルオーダーデザイン制作及びデザインテンプレートの販売
を行っています。

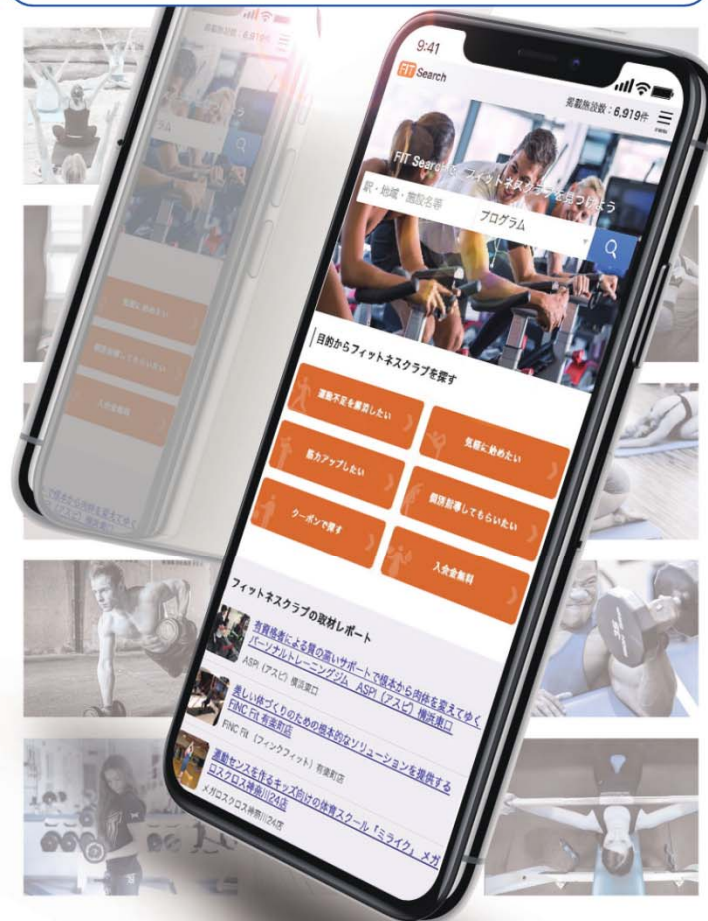


○月間PV数 80,000PV ○ユーザー数 54,000ユーザー

個人事業主からのデザイン受託、API連携による企業間取引により販売の拡大を行っております。
Web経由にて個人事業主からの依頼を安定的に確保しながら提携企業数36社に拡大しております。

FIT Search >>>

<https://fitsearch.jp/>



FIT Searchは健康志向の方が集まる全国のスポーツクラブを紹介するポータルサイトです。

全国のスポーツクラブの詳細、料金、プログラムなどをわかりやすく紹介しています。カラダを動かす楽しさ、健康にいい食材、レシピといったコンテンツも揃えていきます。

サービス概要

- 全国の施設を「駅・沿線」「地域」から探すことが可能!
- 紹介ページが統一フォーマットだからわかりやすい!
- 入会時の特典情報を掲載!
- 掲載料金完全無料(入会発生時のみの成果報酬型)

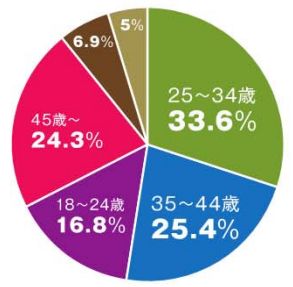
サイト閲覧数 **約800,000 PV/月平均**
(前年同期比179%)

利用ユーザー数 **約510,000 UU/月平均**
(前年同期比212%)

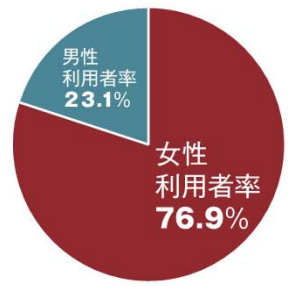
掲載施設数 **約8,500件** (前年同期比126%)

※2019年9月時点

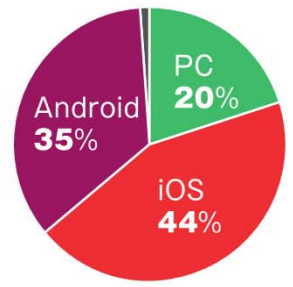
2019年2月にサイトを大幅リニューアルしPV、UU、掲載施設数等大きく増加しました。



利用年齢層



利用性別



デバイス

当社運営サイト「パチ7」について



<https://pachiseven.jp>

業界の活性化を目的に、ユーザーに有益な情報を早く、わかりやすく、面白く提供する事をコンセプトとしたパチンコ・パチスロポータルサイトです。



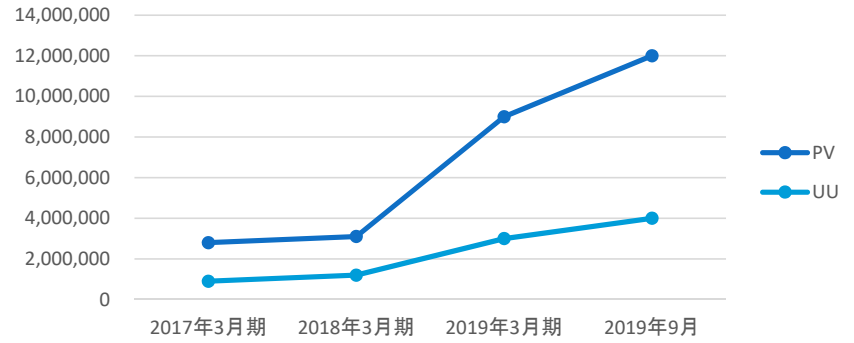
サイト開設
2014年8月7日
(パチ7の日)

利用ユーザー数
4,000,000uu/月
※2019年9月Googleアナリティクス調べ

閲覧数
12,000,000pv/月
※2019年9月Googleアナリティクス調べ

掲載ホール数
5,100店舗
※2019年9月現在

PV・UU推移



PV/UU共に堅調に伸びています。特に機種情報への検索流入が多く付加価値の高い情報がユーザーの支持を得ています。コミュニティサイトとしても多くのユーザーに利用していただきおり業界の活性化に貢献しています。

オリジナルWEB広告について



弊社が運営するサイト「パチ7」「777」をはじめ、複数の有力なパチンコ情報サイトに訪問したことがある**750万UUのデータを保有**し、行動履歴をビッグデータとして管理。750万人のパチンコユーザーに広告配信すると同時に、**サイト訪問者以外で同じ行動パターンのユーザーにも同時に配信**することでパチンコユーザーに広く配信可能なパチンコ業界に特化したWEB広告です。



月間200万UUオーバー！



「FitSearch」のサイトに訪問したことがある**フィットネスユーザーのデータを所有**し、行動履歴をビッグデータとして管理。フィットネス・スポーツクラブユーザーに広告配信すると同時に、**サイト訪問者以外で同じ行動パターンのユーザーにも同時に配信**することで**フィットネス・スポーツクラブユーザーに広く配信可能なフィットネス業界に特化したWEB広告**です。

FIT Search

日本最大級のスポーツクラブ、フィットネス特化サイト



学生、主婦、美容、不動産など**200以上の興味関心カテゴリーのセグメント**、またGPSを利用した、**全国70万店舗以上のチェーン店来訪者**に対して配信可能なDSP広告。エリアを絞った配信、趣味趣向の合ったユーザーへの配信、年齢・性別などの属性、一度自サイトへ訪れたことのあるユーザーなど、**多くの配信方法の組み合わせで配信**するため、**クライアント様のロケーションに合わせてあらゆる層に訴求**できます。

200以上のセグメント
70万店以上のチェーン店

多数の興味関心、GPS位置情報セグメントであらゆるロケーションに

ユーザーデータの蓄積

DMPサーバ



パチンコユーザー

750万UU

フィットネスユーザー

200万UU

セグメント数

200以上

店舗数

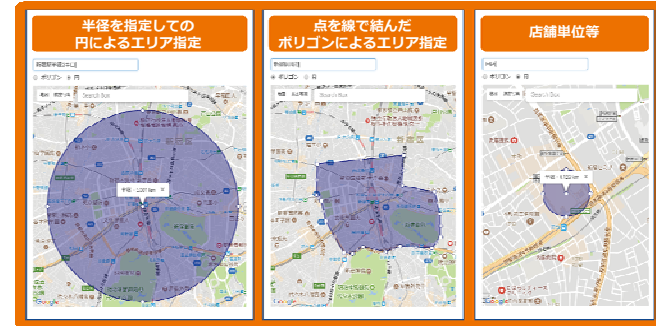
70万店以上

適切なユーザーに対して配信

国内最大級!!月間在庫6,000億の広告枠に配信!
PC : 1,500億imp/月
モバイル : 4,500億imp/月



GPSを用いた任意のエリアユーザーに配信可



YAHOO! JAPAN
プロモーション広告

Yahoo! JAPAN
マーケティングソリューション

認定パートナー「シルバー」獲得企業

YAHOO! JAPAN
マーケティングソリューション
パートナー
シルバー

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 管理部 Tel.03-5358-3334